

# 群馬県藤岡市中大塚方言の否定の表現

篠木 れい子

## I はじめに

1. 調査対象地： 藤岡市は群馬県の南西部に位置す東西に長い市で、当部は関東平野と連なって市街地が開けており、西部は山間地でさらに山深い多野郡に連なる。中大塚は市街地と山間地のちょうど境にあり、人口約1000人、世帯数約300戸の町である。かつては養蚕がきわめて盛んであったが、近年は苺やトマトなどの園芸農業が盛んに行われるようになった。鉄道は高崎市と八王子市を結ぶJR八高線が通っている。主要道路は国道17号線と254号線があるが、バスの便は悪く、自家用車の利用がほとんどである。
2. 調査年月日： 1995年8月10日
3. 話者： 新井貞 大正5年8月4日(78歳)
4. 調査者・調査場所： 篠木れい子、新井小枝子・話者宅
5. 調査方法： 統一調査表による質問調査
6. その他： (1)アクセントは、棒引きで記す。

(2)篠木とともに調査に当たった新井小枝子(26歳)は話者の孫に当たり、話者と同居している。この報告書は新井小枝子さんに負うところきわめて大である。記して感謝申し上げる。

## II 調査結果

- 1 行かない ( )アメガ フルゲダカラ キョーワ ドコイモ {①イガネー。<古><老> ②イガナイ。<新>}

\*青年層(特に女性)は「～ない」の連母音aiを融合せずにナイと発音することが多い。

- 2 降らない ( )キョーワ アメー フンネーヨ。
- 3 行きません ( )キョーワ ドコイモ {①イギマセン。<上品>・<少> ②イガナイヨ。<多>}

\*丁寧の助動詞マス(マセン)は日常ではほとんど用いられない。否定の助動詞「ない」のaiを融合せずにナイとして発音することが、すでに丁寧な表現として働いている。マスを用いた表現はかなり改まった場面でのみ用いられる。

- 4 行きはしない ( )キョーワ ドコイモ イギャー シネー。
- 5 いらっしやらない ( )センセーワ キョーワ ドコイモ イギマセン。

\*「いらっしやる」の相当する敬語動詞はない。尊敬の表現も、いわゆる丁寧の助動詞マスを用いることによってなされている。

- 6 行かなかった ( )キョーワ ドコイモ イガナカッタ。
- 7 行きはしなかった ( )キョーワ ドコイモ イギャー シナカッタ。

- 8 行くまい ( )アメガ フルゲダカラ キョーワ ドコイモ {①イガネーデ ヨスベ  
ー。<多> ②イガネードコー。 ③イガネードクベー。 ④イガナイヨ。 ⑤  
イガネーヨ。}

\*助動詞「まい」は共通語的表現の場合でも用いられることはほとんどない。多く用いられる①は、直訳すると「行かないで よそう」ということになり、「行かない」と「よす」が並列的に連なっている。行かないという否定的な意志をイガネーとヨスを重ねていうことによって表明しているものと考えられる。なお、青年層になるとイゲン ヨソー<行くの よそう>となる。

- 9 出まい ( )アメガ フルゲダカラ キョーワ ドコイモ {①イガネーデ ヨスベ  
ー。<多> ②イガネードコー。 ③イガネードクベー。 ④イガナイヨ。 ⑤イガ  
ネーヨ。}

\*「出る」はほとんど用いず、もっばらイゲ<行く>で表現する。

- 10 すまい ( )キョーワ ナンニモ シネーデ ヨスベー。

\*青年層ではスルン ヨソー<するの よそう>となる。

- 11 降らないだろう ( )キョーワ タブン アメワ フンネートモーヨ。

- 12 降るに違いない ( )アシタワ キット アメガ フルダンベー。

- 13 来ない ( )キョーワ ダレモ キネー。

\*否定ネーが続く場合、「来る」は上一段化してキネーとなる。

- 14 来はしない ( )キョーワ ダレモ キヤシネー。

- 15 来なかった ( )キョーワ ダレモ キナカッタ。

- 16 見ない ( )キョーワ ダレモ ミネー。

- 17 居ない ( )キョーワ ダレモ イネー。

- 18 行かずに ( )ドコイモ イガネーデ ウチニ イル。

- 19 行かなくても ( )ワザワザ イガット イー。

\*「～しなくてもいい」という表現の「～しなくても」に当たるところを、動詞未然形に～ット(五段動詞)、～ラット(五段以外の動詞)をつけた形で表現している。藤岡市ばかりでなく群馬の西部地域にこの特殊な否定表現が認められる。

- 20 行かなければ ( )ワザワザ {①イガナケリヤー ヨカッタ。<多><古> ②イガ  
ナキヤー ヨカッタ。<新>}

- 21 行かねば ( )ドーシテモ アスコイ {①イガナケリヤー ナンネー。<多><古>  
②イガナキヤー ナンネー。<新>}

- 22 行かねばならない ( )ドーシテモ {①イガナケリヤー ナンネー。<多><古>  
②イガナキヤー ナンネー。}

- 23 ～ズ 使用しない。

- 24 行きもせず、来もしない ( )コッチカラ イギモシネーシ アッチカラ キモシネ

- 25 行くか行かないかわからない ( )ソノ ヒトンチー アシタモ イグカ イガネー  
カ ワカンネー。
- 26 無い ( )コレッキリ ネー。
- 27 無い ( )コトシミテニ アッチー トシワ {①ネーヤ ノー。<古> ②ネーヤ  
イ ネー。<新><丁寧>}
- 28 ありはしない ( )コトシミテニ アッチー トシワ アリヤーシネー。
- 29 無かった ( )コトシミテニ アッチー トシワ {①ナカッタイ ネー。<新><  
丁寧> ②ナカッタイ ノー。<古>}
- 30 ありはしなかった ( )コトシミテニ アッチー トシワ アリヤー シナカッタ。
- 31 無いだろう ( )コトシミテニ アッチー トシワ ハー {①ナカンベ。<古>  
②ネーダンベ。<新>}
- 32 無ければ ( )アッチー ナツナンカ {①ナケリヤー イーンニ。<多><古> ②  
ナキヤー イーンニ。<新>}
- 33 暑くない ( )キョーワ アンマリ {①アツカネー。<多><古> ②アツクネー。  
<新>}
- 34 暑くはない ( )キョーワ アンマリ アツカーネー。  
\*33「暑くない」と34「暑くはない」の区別は、アツカネーとアツカーネーで表現  
されている。35と36の対立も同例。長音を取り立ての意を表していると考えられ  
る。他のク活用の形容詞もこれに同じである。
- 35 暑くなかった ( )キョーワ アンマリ {①アツカ ナカッタ。<多><古> ②ア  
ツク ナカッタ。<新>}
- 36 暑くはなかった ( )キョーワ アンマリ アツカー ナカッタ。
- 37 暑くないだろう ( )アシタモ {①アツカ ネーダンベー。<多><古> ②アツク  
ネーダンベー。<新>}
- 38 涼しくない ( )キョーワ アンマリ スズシク ネン ノー。  
\*シク活用形容詞の場合には、「暑くない」のようにアツカネーの形はとらない。  
スズシカ ネーはもっぱら「涼しくない」を意味する。
- 39 にぎやかでない ( )アンマリ ニギヤカジャ ネー。
- 40 にぎやかではない ( )アンマリ ニギヤカジャー ネー。  
\*取り立ての「は」の働きは長音が担っている。
- 41 にぎやかでなかった ( )アンマリ ニギヤカジャ ナカッタ。
- 42 にぎやかではなかった ( )アンマリ ニギヤカジャー ナカッタ。
- 43 にぎやかではなからう ( )ハー メーミテニ {①ニギヤカジャー ナカンベー。  
<古><多> ②ニギヤカジャー ネーダンベー。<新>}

- 44 花ではない ( )アリャー ハナジャー ネー。
- 45 だめだ ( )イックラ ヤッテモ ダメダ。
- 46 だめな ( )アイツァー ダメナ ヤローダ。
- 47 つまらない (1)ロクデモネーコト ユーナ。/②ツマンネーコト ユーナ。
- 48 いけない ( )イッチャー {①イガネー。<多><古> ②イガナイ。<①より丁寧><①より新> ③イゲネー。<新> ④ダメダ。}
- 49 行カレン 言わない。
- 50 行くな ( )ソнна トコー イグナ。
- 51 するな ( )ワルサ {①スンジャネー。<多> ②スンナ。}
- 52 行くもんじゃない ( )ソнна トコー イグモンジャーネー。
- 53 たまらない ( )アチクッテ タマンネー。
- 54 しかたがない ( )アメガ ヤムンオ マッテタッテ {①ショーガネー。<多> ②シカタネー。【誘導】}
- 55 楽ではない ( )トークマデ アルクンワ {①ヨーイジャネー。<多> ②ラクジャーネー。③オーゴトダ。<古><老>}
- 56 歩きたくない ( )トークマデ アルキタクネー。
- 57 大丈夫だ (1)シンパイシラット イー。<古>/②シンパー イラネーヨ。<多>
- 58 いや ( )イヤ フンナカッタヨ。
- 59 いや ( )イヤー フンナカッタヨ。
- 60 いいえ ( )イーエ フリマセンデシタ。
- 61 いや (1)イヤ フッタヨ。 ②ウン フンナカッタヨ。
- 62 どういたしまして ( )イーエ ドーイタシマシテ。
- 63 できない ( )ソннаコト アタシニワ デキネーヨ。
- 64 読むことができない ( )デンキガ ツカナクッテ クレーカラ シンブンガ ヨメネーヨ。
- \*対応する可能表現はヨメル。
- 65 読むことができない ( )マダ チッチェーカラ ヨメネー。
- \*対応する可能表現はヨメル。
- 群馬県においてはほとんどの地域では状況可能と能力可能の区別がなされないが、西北部の山間地の六合村方言では状況可能はヨメル、能力可能はヨメルの他にヨメルが用いられている。
- 66 出られない ( )コンナ フク キチャー マチニワ イゲネー。
- 67 食べられない ( )コノ キノコワ {①クエネー。②タバランネー。<上品>}
- 68 食べることができない ( )イソガシクッテ ヒルメシモ {①クッチャー イランネー。<多> ②クエネー。 ③タバランネー。<上品>}

- 69 知るものか ( )ソ<sup>ナ</sup>ナ<sup>コ</sup>ト ア<sup>シ</sup>ガ シ<sup>ル</sup>モ<sup>ン</sup>カ。
- 70 誰が行くものか ( )ソ<sup>ナ</sup> ト<sup>コ</sup>イ ダ<sup>レ</sup>ガ {①イ<sup>グ</sup>モ<sup>ン</sup>カ。 <多> ②イ<sup>グ</sup>カ。}
- 71 なんて行くか ( )ソ<sup>ナ</sup> ト<sup>コ</sup>イ {①ド<sup>ー</sup>シ<sup>テ</sup> イ<sup>グ</sup>カ。②ナ<sup>ン</sup>デ イ<sup>グ</sup>カ。}
- 72 なんて恥ずかしいものか ( )ナ<sup>ン</sup>デ ハ<sup>ズ</sup>カ<sup>シ</sup>ー コ<sup>ト</sup>ガ アル モ<sup>ン</sup>カ。
- 73 行かないでおるものか ( )イ<sup>ガ</sup>ネ<sup>ー</sup>デ イ<sup>ル</sup>モ<sup>ン</sup>カ。
- 74 やれるか ( )ソ<sup>レ</sup>ガ オ<sup>メ</sup>ーニ ヤ<sup>レ</sup>ル<sup>カ</sup>イ。
- 75 シ<sup>テ</sup>イ<sup>ラ</sup>ン 言<sup>わ</sup>ない。
- 76 少しもはかどらない ( )ア<sup>チ</sup>ク<sup>ッ</sup>テ シ<sup>ゴ</sup>ト<sup>ガ</sup> イ<sup>ッ</sup>コ<sup>ー</sup>ニ ハ<sup>カ</sup>ド<sup>ン</sup>ネ<sup>ー</sup>。
- 77 ぜんぜんできてない ( )シ<sup>ゴ</sup>ト<sup>ガ</sup> {①チ<sup>ツ</sup>ト<sup>モ</sup> デ<sup>キ</sup>テ ネ<sup>ー</sup>。 <多> ②マ<sup>ツ</sup>タ  
ク デ<sup>キ</sup>テ ネ<sup>ー</sup>。}
- 78 いっこうに降らない ( )ア<sup>メ</sup>ガ {①チ<sup>ツ</sup>ト<sup>モ</sup> フ<sup>ラ</sup>ネ<sup>ー</sup>。 <多> ②ゼ<sup>ン</sup>ゼ<sup>ン</sup> フ  
ラ<sup>ネ</sup>ー。 ③イ<sup>ッ</sup>コ<sup>ー</sup>ニ フ<sup>ラ</sup>ネ<sup>ー</sup>。《誘導》}
- 79 あまり降らない ( )コ<sup>ト</sup>シ<sup>モ</sup> ア<sup>メ</sup>ガ ア<sup>ン</sup>マ<sup>リ</sup> フ<sup>ラ</sup>ネ<sup>ー</sup>。
- 80 (予想外に)たくさん ( )イ<sup>モ</sup>ガ {①ア<sup>テ</sup>コ<sup>ト</sup>モ<sup>ネ</sup>ー ト<sup>レ</sup>タ。 <古><多> ②  
オ<sup>モ</sup>ツ<sup>テ</sup>タ ヨ<sup>リ</sup>ャ<sup>ー</sup> イ<sup>ッ</sup>ペ<sup>ー</sup> ト<sup>レ</sup>タ。}
- 81 いいではないか ( )ワ<sup>ザ</sup>ワ<sup>ザ</sup> {①イ<sup>ガ</sup>ツ<sup>ト</sup> イ<sup>ー</sup>ジャ<sup>ー</sup> ネ<sup>ー</sup>カ。 <古><多>  
②イ<sup>ガ</sup>ナ<sup>ク</sup>モ イ<sup>ー</sup>ジャ<sup>ー</sup> ネ<sup>ー</sup>カ。}
- 82 いいのではないか ( )ワ<sup>ザ</sup>ワ<sup>ザ</sup> {①イ<sup>ガ</sup>ツ<sup>ト</sup> イ<sup>ー</sup>ン<sup>ジャ</sup>ー ネ<sup>ン</sup>カ<sup>イ</sup>。 <古><  
多> ②イ<sup>ガ</sup>ナ<sup>ク</sup>モ イ<sup>ー</sup>ン<sup>ジャ</sup>ー ネ<sup>ン</sup>カ<sup>イ</sup>。}
- 83 いいかもしれない ( )ワ<sup>ザ</sup>ワ<sup>ザ</sup> {①イ<sup>ガ</sup>ツ<sup>ト</sup> イ<sup>ー</sup>カ<sup>モ</sup>シ<sup>ン</sup>ネ<sup>ー</sup>。 <古> ②イ<sup>ガ</sup>  
ナ<sup>ク</sup>モ イ<sup>ー</sup>カ<sup>モ</sup>シ<sup>ン</sup>ネ<sup>ー</sup>。 <新>}
- 84 行かないか ( )イ<sup>ッ</sup>シ<sup>ョ</sup>ニ イ<sup>ガ</sup>ネ<sup>ー</sup><上<sup>昇</sup>調>。
- 85 くれな<sup>い</sup>か ( )コ<sup>レ</sup> {①モ<sup>ツ</sup>テ ク<sup>ン</sup>ネ<sup>ー</sup><上<sup>昇</sup>調>。 ②モ<sup>ツ</sup>テ ク<sup>ン</sup>ネ<sup>ー</sup>カ<sup>イ</sup>  
<上<sup>昇</sup>調>・<丁<sup>寧</sup>>。}
- 86 くれませんか ( )コ<sup>レ</sup> モ<sup>ツ</sup>テ ク<sup>レ</sup>マ<sup>ス</sup>カ<上<sup>昇</sup>調>。
- 87 下<sup>さ</sup>い<sup>ま</sup>せんか ( )コ<sup>レ</sup> モ<sup>ツ</sup>テ ク<sup>レ</sup>マ<sup>セ</sup>ン<sup>カ</sup><上<sup>昇</sup>調>。
- 88 行かないと ( )ハ<sup>ヤ</sup>ク イ<sup>ガ</sup>ネ<sup>ー</sup>ト マ<sup>ニ</sup>ア<sup>ワ</sup>ネ<sup>ー</sup>ゾ。

### III まとめ

- 1 否定の表現は、助動詞「ない」の連母音aiが融合したネーによってほとんどなされている。
- 2 否定的な意志の表現は、助動詞「まい」によらずに「～しないで よそう」に相当する～シネーデ ヨスベーによって多くなされている。
- 3 「～しなくても いい」の「～しなくても」に相当する表現は、～ット・～ラットという特殊な形でなされることが多い。

(しのぎ れいこ 群馬県立女子大学)